

# カモスタットメシル酸塩錠 100mg「アメル」の安定性に関する資料

## (無包装)

本資料は、苛酷条件に保存した場合の安定性試験結果をお示しするものです。  
一包化や粉碎の可否につきましては、医療機関様にてご判断いただきますよう、お願いいたします。

### 試験方法

各試験方法は承認規格に準拠。硬度については硬度計を用いて測定した。

### 総合評価分類

分類	分類基準
◎	全ての試験項目で変化を認めない
○	いずれかの試験項目で「規格内」の変化を認める
△	いずれかの試験項目で「規格外」の変化を認める

### 評価基準

#### 【外観】

分類	評価基準	判定
変化なし	外観上の変化を、ほとんど認めない場合	◎
変化あり（規格内）	わずかな色調変化（退色等）等を認めるが、品質上、問題とならない程度の変化であり、規格を満たしている場合	○
変化あり（規格外）	形状変化や著しい色調変化を認め、規格を逸脱している場合	△

#### 【溶出性】又は【崩壊性】

分類	評価基準	判定
変化なし	規格値内の場合	◎
変化あり（規格外）	規格値外の場合	△

#### 【含量】

分類	評価基準	判定
変化なし	含量低下が3%未満の場合	◎
変化あり（規格内）	含量低下が3%以上で、規格値内の場合	○
変化あり（規格外）	規格値外の場合	△

#### 【硬度】

分類	評価基準	判定
変化なし	硬度変化が30%未満の場合	◎
変化あり（規格内）	硬度変化が30%以上で、硬度が2.0kg重以上の場合	○
変化あり（規格外）	硬度変化が30%以上で、硬度が2.0kg重未満の場合	△

#### 【その他の試験項目】

分類	評価基準	判定
変化なし	規格値内の場合	◎
変化あり（規格外）	規格値外の場合	△

平成11年8月20日付「錠剤・カプセル剤の無包装状態での安定性試験法について（答申）」（日本病院薬剤師会）一部改変

## 1. 総合評価

検体：カモスタットメシル酸塩錠 100mg「アメル」

保存条件 <sup>※1</sup>		検体	包装形態	30日目	60日目	90日目
湿度	25℃ 75%RH	錠剤	遮光・開放	◎	◎	◎
温度	40℃		遮光・気密容器	◎	◎	◎

保存条件 <sup>※1</sup>		検体	包装形態	60万 lx・hr
光	25℃ (曝光量) 60万 lx・hr <sup>※2</sup>	錠剤	気密容器	◎

※1：平成11年8月20日付「錠剤・カプセル剤の無包装状態での安定性試験について(答申)」(日本病院薬剤師会)に準じる。

※2：病院薬局における調剤時の保存条件を反映し、500lxの明るさの場所で1日8時間、1ヵ月25日間照射されるとして6ヵ月間に相当する。(500lx×8時間×25日間×6ヵ月=60万 lx・hr)

無包装状態の場合

無包装状態における安定性は、25℃75%RHの湿度条件下において、90日目までいずれの試験項目においても規格値の範囲内であった。

また、温度(40℃)90日間、光(60万 lx・hr)の条件下においても、いずれの試験項目においても規格値の範囲内であった。

## 2. 湿度に対する試験項目および安定性試験結果

## ① 外観

開始時	30 日目	60 日目	90 日目
白色のフィルムコーティング錠であった。	変化なし	変化なし	変化なし
判定	◎	◎	◎

規格値：白色～淡黄白色のフィルムコーティング錠である。

## ② 溶出性

開始時	30 日目	60 日目	90 日目
95.0～102.7 (98.6)	84.3～98.6 (94.4)	92.7～97.8 (96.1)	90.2～100.4 (95.6)
判定	◎	◎	◎

規格値：30分=80%以上、最小値～最大値、( )内は6ベッセルの平均値(%)

## ③ 含量

開始時	30 日目	60 日目	90 日目
100.4 (100.0)	100.2 (99.8)	100.7 (100.3)	102.4 (102.0)
判定	◎	◎	◎

規格値：93～107% ( )内は開始時を100%として換算した値 3回の平均値(%)

## ④ 硬度

開始時	30 日目	60 日目	90 日目
6.9～7.9 (7.4)	5.8～7.3 (6.5)	5.7～6.9 (6.4)	5.9～6.8 (6.5)
判定	◎	◎	◎

設定値：58.8N(6.0kg)以上、最小値～最大値 ( )内は10錠の平均値(kg)

## 3. 温度に対する試験項目および安定性試験結果

## ① 外観

開始時	30 日目	60 日目	90 日目
白色のフィルムコーティング錠であった。	変化なし	変化なし	変化なし
判定	◎	◎	◎

規格値：白色～淡黄白色のフィルムコーティング錠である。

## ② 溶出性

開始時	30 日目	60 日目	90 日目
95.0～102.7 (98.6)	94.2～98.9 (97.1)	94.8～102.4 (99.0)	96.8～100.1 (98.3)
判定	◎	◎	◎

規格値：30分=80%以上、最小値～最大値、( )内は6ベッセルの平均値(%)

## ③ 含量

開始時	30 日目	60 日目	90 日目
100.4 (100.0)	100.1 (99.7)	100.7 (100.3)	101.6 (101.2)
判定	◎	◎	◎

規格値：93～107% ( )内は開始時を100%として換算した値 3回の平均値(%)

## ④ 硬度

開始時	30 日目	60 日目	90 日目
6.9～7.9 (7.4)	6.9～9.0 (8.4)	8.1～9.3 (8.6)	7.6～9.6 (8.6)
判定	◎	◎	◎

設定値：58.8N(6.0kg)以上、最小値～最大値 ( )内は10錠の平均値(kg)

## 4. 光に対する試験項目および安定性試験結果

## ① 外観

開始時	60 万 lx・hr
白色の フィルムコーティング錠であった。	変化なし
判定	◎

規格値：白色～淡黄白色のフィルムコーティング錠である。

## ② 溶出性

開始時	60 万 lx・hr
95.0～102.7 (98.6)	95.0～100.1 (97.7)
判定	◎

規格値：30 分=80%以上、最小値～最大値、( )内は 6 ベッセルの平均値(%)

## ③ 含量

開始時	60 万 lx・hr
100.4 (100.0)	99.0 (98.6)
判定	◎

規格値：93～107% ( )内は開始時を 100%として換算した値 3 回の平均値(%)

## ④ 硬度

開始時	60 万 lx・hr
6.9～7.9 (7.4)	7.3～9.2 (8.4)
判定	◎

設定値：58.8N(6.0kg)以上、最小値～最大値 ( )内は 10 錠の平均値(kg)